

経口抗がん剤の院外処方時における
適正使用のためのチェックシートおよびテレフォントラッキングシートの運用

2019年12月
松江赤十字病院 薬剤部

当院では、経口抗がん剤を含めて院外処方を推進しています。そのため、外来化学療法を安全に行うためには、保険薬局薬剤師の先生方の治療介入が必要となります。一方で、保険薬局からは患者様への説明内容、薬の投与量、副作用発見時の対応などが良くわからないというご意見をいただくことも少なくありません。

そこで今回、保険薬局で安心して服薬指導や副作用確認などを行なっていただけるように、また、処方医が保険薬局から得た情報を診療に役立てるために、2種類のシートを作成しました。シートの運用は以下にお示しします。

是非ご活用いただきますようお願い申し上げます。

【運用に関するお問い合わせ】

松江赤十字病院 薬剤部 薬品情報課

(受付時間：平日 8:20~16:50 電話番号：24-2111 (代表) 内線：7386)

【対象薬剤】

○アベマシクリブ (商品名：ベージニオ錠)

【適正使用のためのチェックシートの運用】

○服薬指導に使用できる資材、投与量・休薬期間・減量中止基準・支持療法の確認などをまとめています。

○処方箋を応需した時に活用してください。記入したシートを当院にFAXする必要はありません。なお、疑義照会が必要な場合や緊急を要すると判断した場合は、医師に直接確認してください。

【テレフォントラッキングシートの運用】

○服用状況の確認、副作用の確認事項、副作用グレード分類 (CTCAE) に応じた対応などをまとめています。

○シートの内容を電話連絡にて確認し、結果を当院に報告することを患者から同意が得られた時に活用してください。

① 保険薬局薬剤師は記入したシートを当院にFAX (26-8988) する。なお、緊急を要すると判断した場合は、当院に電話連絡するよう患者に伝える。

② 当院薬剤師はシートの内容を確認し、外来に渡し、処方医が確認した後に電子カルテに取り込む。必要に応じて、処方医に対応を確認し結果を保険薬局にFAXする。

③ 処方医は内容を確認し、診療に役立てる。

○患者の同意を得た上で、必要に応じて、服薬情報等提供料を算定してください。